

持続可能な まちをめざして



1. 将来人口を見据えた財政運営

土別市が将来にわたり、まちの魅力と活力を保ち、まちづくりをすすめるためには、持続可能な財政運営が不可欠です。

人口と収入の増加が見込めないなか、必要なインフラや行政サービスなどを持続可能な形で提供するために、より大きな観点から効率化・合理化を行う余地がないかなどの検討が必要です。

市では、令和2年に策定した財政健全化実行計画の目標である「持続可能な財政基盤の確立」「基金に頼らない財政運営の構築」「財政調整基金残高3億円の確保」の達成に向けて、歳出抑制や歳入確保などの具体的な取り組みをすすめています。

しかしながら、公共施設の最適化も遅れていることなどから、物価高騰にともない物件費や人件費などの増加が著しく、目標達成に向けて市民サービスと公共施設の聖域なき見直しが必要です。 **単に「財政が厳しいから」という考えではなく、各種事業の目的や必要性などを再度確認・検証**し、右記の視点で、事務事業の見直しと公共施設の最適化を行います。

今後、人口減少が想定されますが、未来への投資や新たな取り組み、自然災害、施設の老朽化対策などの対応が必要であることから、一定の規模縮小が必要です。

事業見直しの視点

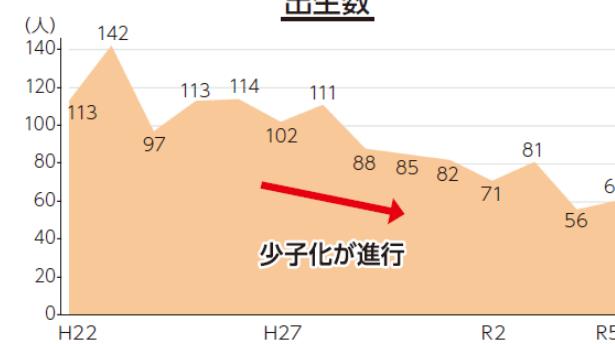
- 合併当時の人口2万4千人と同じ規模で提供しているサービス、事業はないか
- 10年後を見据え、スリム化が必要なものはないか
- 他市町村と比較して、過大なサービスや人員配置はないか
- 民間と競合している事業や、民間の事業を圧迫しているものはないか
- 人員不足によって、サービスの破綻が想定されるものはないか

など

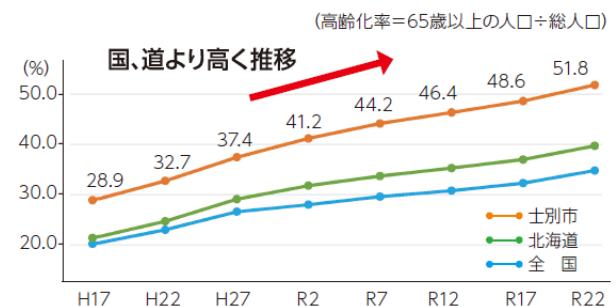
人口の推移



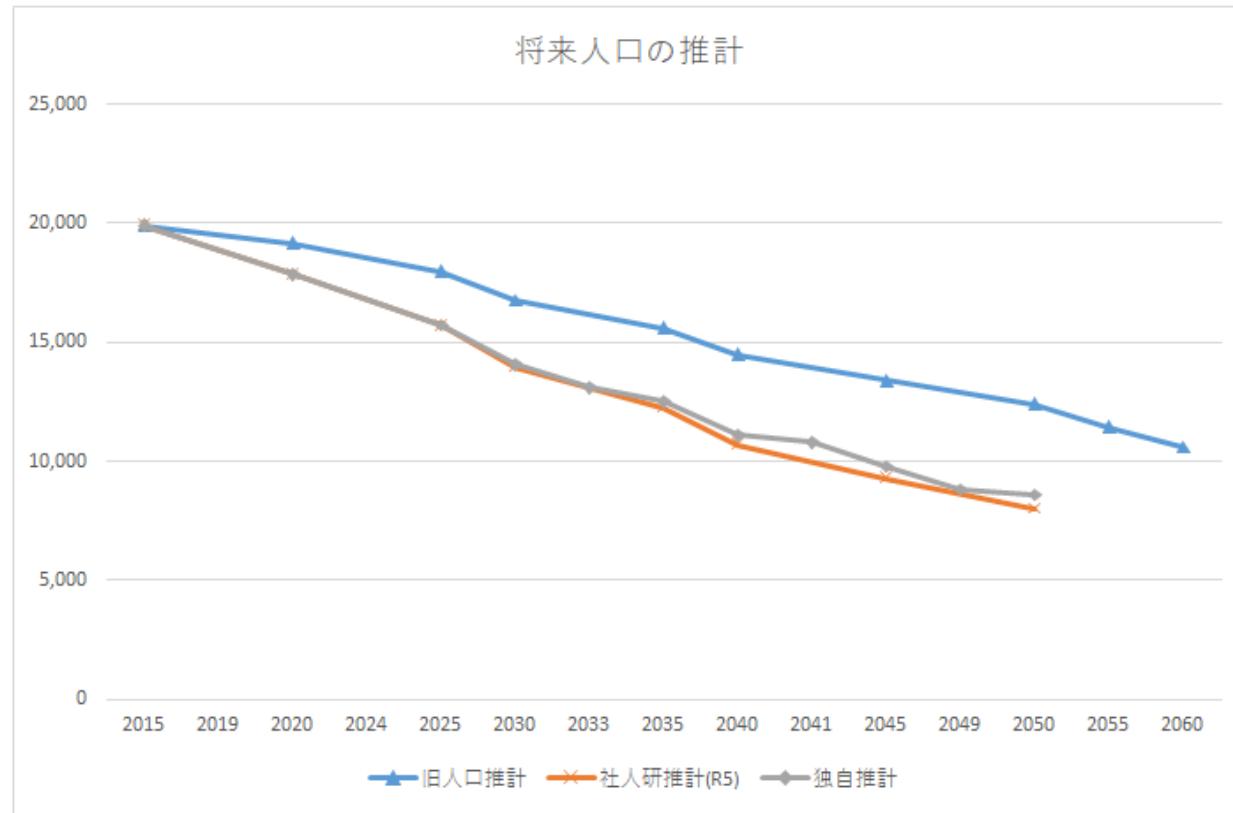
出生数



高齢化率の推移

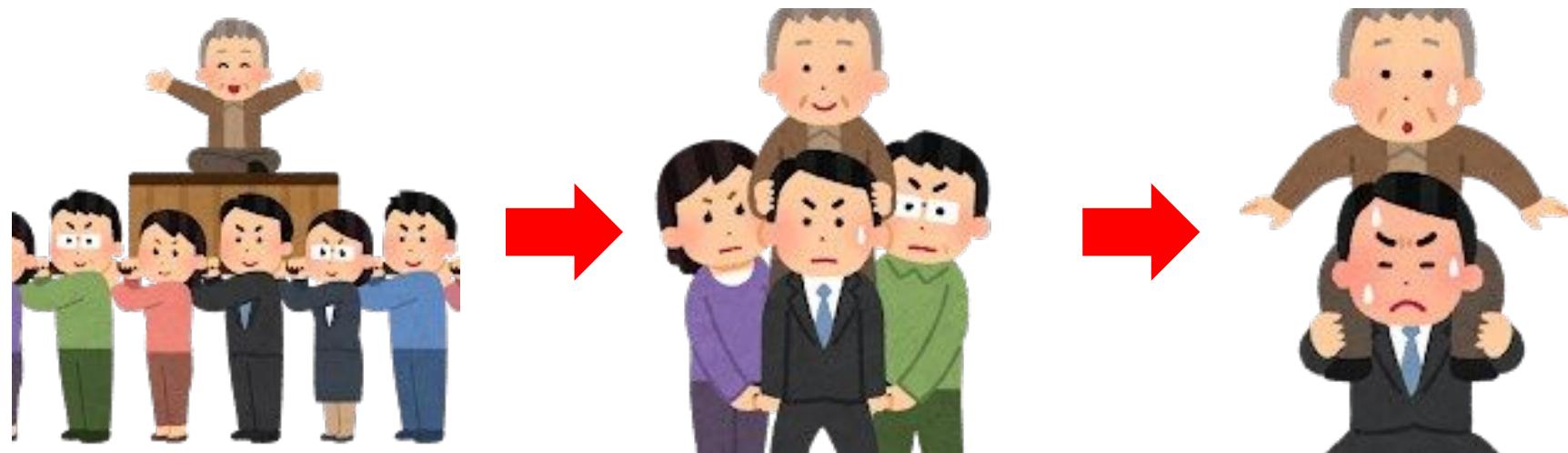


2. 士別市の人口ビジョン



	2015	2019	2020	2024	2025	2030	2033	2035	2040	2041	2045	2049	2050
旧人口推計	19,914		19,173		17,984	16,768		15,594	14,493		13,391		12,408
社人研推計(R5)	19,914		17,858		15,695	13,929		12,252	10,709		9,293		8,012
独自推計	19,914		17,858		15,718	14,068	13,110	12,508	11,083	10,809	9,779	8,813	8,587

■負担割合のイメージ



合併時

現在

将来

3. 平成17年合併以降の主な建設事業



糸魚小学校 11.7億円



あいの実保育園 5.4億円



多寄団地 4.4億円



日向スキー場 3.5億円



三望台シャンツエ 5.4億円



美土里ハイツ 3.2億円



あけぼの子どもセンター 3億円



上士別小中学校 19億円



ほくと子どもセンター 4.9億円



和が舎 3.9億円



バイオマス資源堆肥化施設 7億円



つくも団地 8.4億円



環境センター 51.7億円



日向保養センター 3.6億円



いきいき健康センター 5.8億円



まちなか交流プラザ 4.6億円



西団地 8.2億円



水郷公園再整備 4.3億円

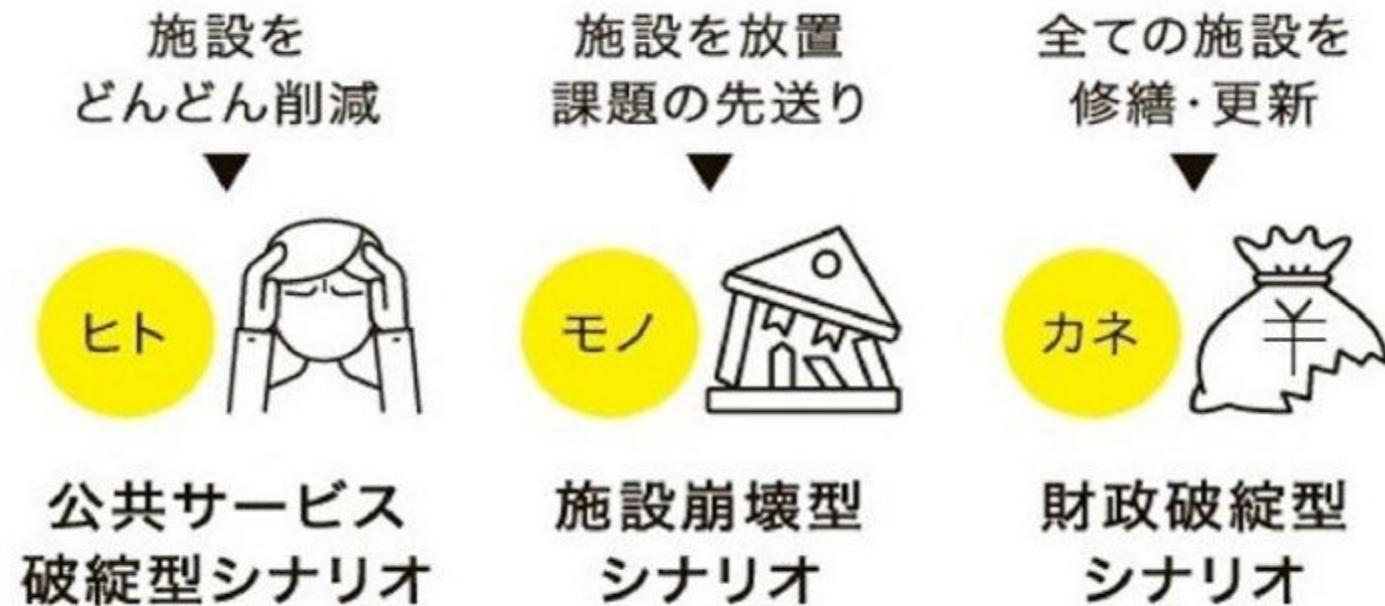


庁舎・消防庁舎 32.8億円

H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

4. 公共施設最適化の必要性①

公共施設最適化の取り組みを進めないと…



暮らしの安全や次世代にまで影響する可能性がある。

4. 公共施設最適化の必要性②

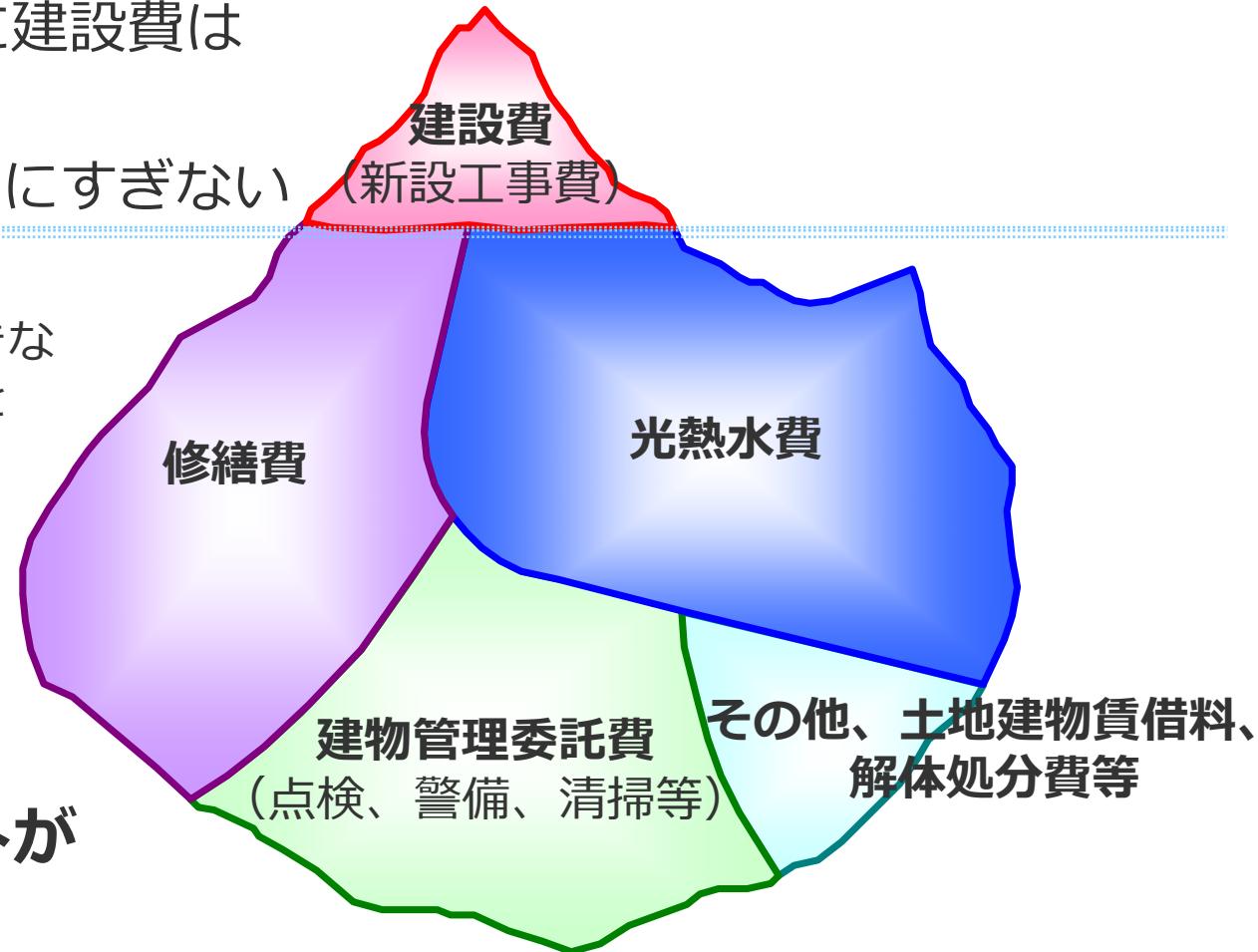
更新費用以外の公共施設等に関する経費

建築物の場合、一般に建設費は全体の**約2割**程度。

更新費は**氷山の一角**にすぎない

公共施設等を持てば、大きな維持費が必要となることを意識しなければならない

■ ランニングコストが大きな問題



5. 公共施設最適化の方針①

【統合を予定する施設】

対象施設		当初の提案内容	市の方針
①	あさひサンライズホール	大ホール未耐震のため「あさひサンライズホール」へ令和12年3月までの5年以内に統合	当初の提案どおり
	市民文化センター大ホール		
②	日向スキー場	あさひスキー場老朽化（44年経過）のため令和8年3月をもって「日向スキー場」へ統合	継続協議
	あさひスキー場		
③	南郷プール	朝日プール老朽化（56年経過）のため令和8年3月をもって「南郷プール」へ統合	令和9年3月をもって施設を統合
	朝日プール		
④	農産加工実習施設	経年劣化によりの一むのボイラー等の更新が必要なため令和8年3月をもって「農産加工実習施設」へ統合	令和9年3月をもって施設を統合 ※設備や機器が故障した段階で加工品目を制限または閉鎖
	農畜産物加工体験交流工房の一む		

5. 公共施設最適化の方針②

【廃止・休止を予定する施設】

対象施設	当初の提案内容	市の方針
① 天塩川パークゴルフ場	利用者減のため令和9年3月までに廃止	当初の提案どおり
② つくもスケート場	設営、管理が難しく、作業機械や管理棟も老朽化しているため令和9年3月までに廃止	継続協議
③ つくもカーリング場	利用期間が短く、管理棟も老朽化しているため令和9年3月までに廃止	継続協議
朝日公民館壬子分館		
④ 朝日公民館三栄分館	老朽化、利用者減のため8年3月をもって分館を廃止し、機能は朝日公民館に統合	継続協議
朝日公民館登和里分館		
⑤ 朝日多目的交流施設	築後24年が経過し、修繕が必要なこと、利用者減のため令和8年3月までに廃止	継続協議
⑥ 天塩川テニスコート	利用者減のため令和8年3月をもって休止	当初の提案どおり
⑦ いきいき健康センター（ぷらっと分）	老朽化のため令和9年3月をもって廃止	当初の提案どおり

6. 事業の見直し

【令和8年度予算要求に向けて】

事業名（事業内容）	市の方針
① グリーンパートナー推進事業（農業者に出会いの場を創出）	見直し
② みよし市・川内村小学生交流事業 (みよし市・川内村への小学生派遣及び受け入れ)	見直し
③ 市民自主企画事業 (各種団体・サークルの自主企画活動への支援)	廃止
④ 高齢者学習推進事業 (高齢者の生きがいづくりや同世代のつながりづくり)	見直し
⑤ 総合型スポーツクラブ推進事業 (各地区スポーツクラブの自主活動への支援)	見直し

【令和9年度予算要求に向けて】

事業名（事業内容）	市の方針
① 高齢者入浴料助成事業 (生活困窮者などへの入浴料助成)	廃止
② 世界のめん羊館管理運営事業 (世界のめん羊館の運営)	見直し

7. 今後の整備を検討中の施設など

市民が豊かに安心して暮らせるまちづくり・老朽化した公共施設等への対応として、令和8年度以降に整備、検討していくかなければならない施設。



- ・総合体育館
- ・あさひサンライズホール
- ・市立病院
- ・除雪機械整備
- ・下水道整備
- ・農業構造転換支援事業(JA北ひびき整備)
- ・子どもの遊び場（屋内施設）
- ・公営住宅整備